

合唱で培う学級力 ～行事を通してクラスを成長させよう～

11月を迎え、文化祭が近づいてきました。日増しに深まる秋の凜とした空気の中に、合唱コンクールに向けて練習する声が聞こえてくると、こちらも清々しい気持ちになります。

合唱が成功するかどうかは、そのクラスがどれだけまとまるかに左右されると考えることができます。では、まとまりとは何でしょうか。どうすればまとまりを強めることができるでしょうか。

運動競技では、個人個人のもっている能力に影響される部分が大きく、それを逆転するためには何か月もかけて力をつけたり技能を伸ばしたりしなければなりません。しかし、合唱は違います。運動競技に比べると、個人の能力に左右される部分が小さいのです。言い換えれば、努力した分だけストレートに形に表れるのが合唱なのです。ひと言で言えば、合唱は「努力が報われる活動だ」ということです。そして、その一人一人の努力をクラス全員分まとめたものが、クラスのまとまりと言えるのです。一人一人の努力の量がクラスの実力アップに直結するわけですから、お互いに努力しやすい、努力しようという気持ちが湧いてくる雰囲気づくりが大切です。声を掛け合い、励まし、遠慮せず意見を出し合い、少しでもレベルアップさせたいという気持ちが表れた練習をしていきましょう。

例えば昼休みなども、自分のやりたいことを後へ回して、合唱練習に参加していますね。自分の事情より他の人のために動くことを優先する。つまり自分の時間を犠牲にしてクラスの合唱を良くしようとしている。指揮者や伴奏者は自分のことはそっちのけで、練習に取り組んでいる。そのことに感謝の気持ちをもって更に練習に励む。これで学級が成長しないはずがありません。クラス全員が同じ目標に向かって進む力、それが学級力です。



これまでも、運動会でもろ漕ぎ大会でも紅白各組で団結して取り組んできましたが、クラスの中に紅組と白組の両方の組の人がいました。今度はクラス全体が一つになって取り組める行事です。本気で取り組み、自分もクラスも成長させてほしいと思います。

クラス合唱・全校合唱を成功させる秘訣

歌うことが得意とか、苦手とかそんなのは関係ありません。みんなの心を一つにして、いい歌にすることをめざし、一生懸命歌うことが大切なのです。

- ① 遠くの人に聴かせるように・・・体育館の2階にいる人に聴かせるように声を出そう。
- ② たっぷり息を吸う・・・まず、息を吸わないと声は出せません。
- ③ 口をしっかりと開ける・・・口は声の出口。大きく開けないと声は出ません。
- ④ 口は大きさに開け閉めする・・・大きさをかなと思うくらいしっかりと唇を動かすと、言葉がはっきり伝わります。
- ⑤ 指揮者を見る・・・全員で合わせることも大切。その合図をしてくれるのが指揮者です。

聴き手を感動させるためには、歌っている自分たち自身が感動しないと伝わりません。全員で感動を味わいましょう。感動はいつまでも私たちの心に残る宝物です。



